



テクノツリー

携帯端末活用ウェブシステム提案 生産進捗管理や設備メンテナンスなど 点検管理業務を効率化



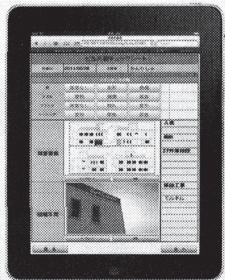
木下 武雄社長

【兵庫】ウェブシステム開発事業のほか、各種デザイン・マニュアル製作などのコンテンツ事業を手掛けるテクノツリー(社長 木下武雄氏、本社・兵庫県明石市魚住町清水534-7)は、米アップル社の「iPad」や米グーグル社の「Android」などの携帯端末を活用したソリューションシステムを製造業向けに提案している。携帯端末を業務用端末としてウェブサーバーとリンクさせることで、製造現場での報告書作成やチェックシート入力などを容易、確実にするシステム。生産ラインの進捗状況管理や設備メンテナンス時の必要情報をタ

ブルによる省資源化につながる。携帯端末での読み取りと入力には端末のウェブブラウザで行うため、iPadやAndroidのOSを選ばない。ウェブサーバーと携帯端末とは無線LANまたは3G回線で接続しているため、システム導入時の配線工事不要。3G回線接続時には遠隔地での利用も可能だ。同社はエクセル・ゲートの姉妹システムとして「Build Gate」というシステムも製品化している。基本システムはエクセル・ゲートと同じだが、建設現場で作業者が撮影した画像を携帯端末経由でウェブサーバーに送信できる機能を付加した。ウェブサーバーで作った帳票に画像データを反映し、管理書類に生かせる。ビル・ゲートは建築物が完成するまでの進捗や内部設備の配置状況などを画像付きで管理できる。このため大手建設業者のほか、大手設備業者やビルメンテナンス会

社、ハウスメーカーなどから引き合いがあるという。木下社長は「大手のサブコンに関心を持っていただき、一部の工事現場で試験的に採用いただく方向で現在調整を進めている。9月中には実証試験を始めたい。運用面での改善効果が明確になれば、各現場でも採用いただけるよう働きかけていく」と語る。

生産現場や建設現場では、紙製のチェックシートを用いて作業の進捗状況などを手書きで記録し、必要事項を事務所のオペレーターが別途基幹システムのOSに手入力している例が多い。携帯端末を活用した同社のシステムでは、こうした作業の二度手間を省き、現場で入力したデータをインターネットでアップロードして各メーカーが独自に運用している。各メーカーが独自に運用している在来システムとのインターネット構築も可能。各社向けのカスタマイズシステムの開発にも対応している。企画管理部の厚見義二部長は「エンドユーザーからはエクセル・ゲートで蓄積したデータをウェブサーバー経由で在来システム側に送りたいと



タブレット端末に表示される画面の一例

の意向が多い。インターネット上のボックスを追加設定することで対応できる」と語る。例えば、

備考:

- ※ iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ※ Androidは、Google Inc.の登録商標です。
- ※ Microsoft Excelは、米国Microsoft社の商標または登録商標です
- ※ 本紙に掲載された社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。